

# 教職科目の目次 (2017年度以前の入学生用)

## 教職課程科目

商 業 教 育 法 ……	1
商 業 授 業 研 究 ……	2

ナンバリングコード B30TH-fbaE-50-Le2 授業科目名 (時間割コード: 303810) 商業教育法 Commercial Teaching Methods	科目区分	時間割 前期水3	対象年次及び学科 2～経済学部
	水準・分野 B30TH	DP・提供部局 fbaE	対象学生・特定プログラムとの対応 50
	授業形態 Le	単位数 2	
担当教員名 穴吹 忠義	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 講義 90分 × 15回 + 自学自習 15時間			
<b>授業の概要</b> 商業（ビジネス）教育とは何か、その理念と内容を理解し指導方法について学ぶ。高等学校学習指導要領「商業」の解説を中心に、商業教育の歴史および商業に関する教科・科目の概要とその指導方法を学習し、高等学校における商業教育のこれからの展望を考える。			
<b>授業の目的</b> 教員の免許状取得のための必修科目			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 商業（ビジネス）教育の基本理念を理解し、商業に関する教育内容を体系的に分類・把握する。 2) それぞれの学習分野について基礎的・基本的知識と指導法を身につける。			
<b>成績評価の方法と基準</b> 学習指導要領に示された当該教科の目標や内容及び教育課程の理解度によって評価をし、筆記試験（70%）、発表・レポートの提出（20%）、教材作成（10%）の割合で評価する。			
<b>授業計画並びに授業及び学習の方法</b> 第1回：高等学校教育の現状と商業教育・専門教科としての商業の意義を考える 第2回：学習指導要領「商業」の内容と変遷・商業教育の歴史を調べる 第3回：教科・商業科の目標・専門教科としての特色ある目標を暗唱する 第4回：教科の組織（商業科の科目編成、分野構成）・分野別に20科目を体系的に考察する 第5回：商業の科目体系、基礎的科目としての「ビジネス基礎」の指導内容の要点 ・指導法を把握する 第6回：総合的科目としての「課題研究」「総合実践」「ビジネス実務」の指導内容の要点 ・指導法を把握する 第7回：マーケティング分野3科目の指導内容の要点・指導法を把握する 第8回：ビジネス経済分野3科目の指導内容の要点・指導法を把握する 第9回：会計分野5科目の指導内容の要点・指導法を把握する 第10回：ビジネス情報分野5科目の指導内容の要点・指導法を把握する 第11回：教科・商業の全分野についての学習内容の要点と発展的学習について ・商業教育の本質を考察する 第12回：学習評価と観点別評価基準について・評価の重要性と評価方法を把握する 第13回：教材作成の基本とプレゼンテーション（ICT機器、教材の活用を含む） ・自主教材を作成する 第14回：教育課程編成の事例研究 ・理想のカリキュラム及び条件付きのカリキュラムを試作する 第15回：これからの商業教育のあり方・時代に対応した実学としての商業教育を考察する 定期試験（筆記試験）			
<b>教科書・参考書等</b> 教科書： 文部科学省『高等学校学習指導要領解説 商業編』（最新版 実教出版）  参考書・参考資料等： 吉野弘一著『商業科教育法 ―21世紀のビジネス教育―』（実教出版）			
オフィスアワー 水曜日午後2時30分から午後3時			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ			

ナンバリングコード B30TH-fcbE-50-Ee2 授業科目名 (時間割コード: 303820) 商業授業研究 Commercial Lesson Research	科目区分	時間割 後期水3	対象年次及び学科 2～経済学部
	水準・分野 B30TH	DP・提供部局 fcbE	対象学生・特定プログラムとの対応 50
	授業形態 Ee	単位数 2	
担当教員名 穴吹 忠義	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分×15回 + 自学自習30時間			
授業の概要 授業での指導方法を習得する。授業の展開を計画し (PLAN)、学習指導案を作成した上で模擬授業を実践し (DO)、最後に評価し (CHECK)、次の授業計画に活かし向上する (ACTION)。			
授業の目的 教員の免許状取得のための必修科目			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1) 模擬授業を多く体験することで商業の主な科目で指導に必要な知識・技術・評価方法を身につける。  2) 自信を持って授業できるようにする。			
成績評価の方法と基準 基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場면을想定した授業設計をし、模擬授業の実施結果により評価し、発表・レポートの提出 (20%)、教材の作成 (20%)、授業実践 (60%) の割合で最終評価をする。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
第 1 回: 授業研究の目的と意義・よい授業の条件を考察する 第 2 回: 効果的な教材の作成および教材研究の要点・プレゼンソフトで教材を作成する 第 3 回: 作成した教材の発表 (ICT機器、教材の活用を含む) ・自作教材をプレゼン発表する 第 4 回: プレゼンテーションの技法と授業 (ICT機器、教材の活用を含む) ・教材を改善する 第 5 回: 授業の組み立てと学習指導案の事例研究および学習指導案の作成・指導案を試作する 第 6 回: 授業研究=高校現場での授業見学・実際の授業を見学して指導法を参考にする 第 7 回: 授業研究=高校現場での授業見学・実際の授業を見学して指導法を参考にする 第 8 回: 模擬授業・批評による授業研究【経済のしくみ】(板書等利用) ・指導計画を実施する 第 9 回: 模擬授業・批評による授業研究【経済活動と流通】(板書等利用) ・指導計画を実施する 第 10 回: 模擬授業・批評による授業研究【小売業者】(ICT利用) ・プレゼン利用の指導を実施する 第 11 回: 模擬授業・批評による授業研究【卸売業者】(ICT利用) ・プレゼン利用の指導を実施する 第 12 回: 模擬授業・批評による授業研究【企業と経営組織】(ICT利用) ・プレゼン利用の指導を実施する 第 13 回: 模擬授業・批評による授業研究【売買取引の手順】(ICT利用) ・プレゼン利用の指導を実施する 第 14 回: 模擬授業・批評による授業研究【売買計算】(板書等利用) ・指導計画を実施する 第 15 回: 授業研究のまとめと教育実習について・模擬授業実施後の反省をする 定期試験 (最終の模擬授業)			
教科書・参考書等 教科書: 文部科学省『高等学校学習指導要領解説 商業編』(最新版 実教出版)  参考書・参考資料等: 商業科目の文部科学省検定済みの高校の教科書			
オフィスアワー 水曜日午後2時30分から午後3時			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ			